

来月から「座繰り体験」  
道の駅甘楽の松井家住宅で  
甘楽町は6月から9月、ある松井家住宅で座繰り  
にかけて、道の駅甘楽に「体験を実施する。」

かつて甘楽では、ほほも減り、見る機会がほと  
すべての家庭で養蚕が行  
んとなくなった座繰り  
われており、座繰りて、  
まゆ糸を挽いていた。現  
在は養蚕を行っている家  
とができる。  
15年に日本遺産に登録

された「かかあ天下」  
ぐんまの絹物語」の構  
成文化財の中には甘楽町  
の文化財が3件含まれて  
いる。「かかあ天下」は、  
れが積み重なり、いつの  
間にか地域が活性化され  
ていけばうれしい。ここ

# 玉村に移住決め新たな道筋

## 県立女子大生の本田さん、秋山さん

スタート地点。佐渡郡玉村町内にこのほど、古民家を再生しシェアハウスとイベントスペースを備えた「たむろ荘」がオープンした。県立女子大学に通う本田美咲さんと秋山恵璃さんが共同で立ち上げたもので、クラウドファンディングで資金を調達した。玉村への移住を決め、これから先の暮らしと、人々との交流や新たな道筋を探っていく。「自由気ままに人が行き来できる場所として空間を活用していきたい」(両者)。ゴールデンウィーク中にはオープンハウスも開いた。(飯島幸直)

# シェアハウス・イベントスペース開設 古民家再生まちの交流拠点に



店舗付き住居跡地を30万円で購入

本田さんは長野県出身、秋山さんは宮城県出身で2人はともに4年生。県立女子大学に入学後、玉村の雰囲気はほれ込み、これから先も玉村で暮らすことを決断。さまざまな活動ができる暮らしの場を考え、クラウドファンディングで48万円を調達、改修費などに充てた。1階が自由なスペースで2階が住居。現在、2



たむろ荘で暮らす本田美咲さんと秋山恵璃さん

イベントスペースは、トーク会やアトリエなど各種催しを行っている。地域住民も気軽に立ち寄れる拠点としても位置付けており、世代を越えた空間として活用している。「内容は不確定ですが、何かをやっている場

# 5期連続で増収増益 売上高過去最高、17年3月期決算 関東西濃運輸



安中市板鼻に本社を構える

関東西濃運輸(安中市板鼻、羽鳥義雄社長)は、このほど17年3月期の決算を発表した。5期連続で増収増益を達成した。売上高が過去最高の前期比1.61%増の347億2100万円、営業利益が同4.05%増の10億7300万円、経常利益は同4.91%増の1億7000万円となった。主な要因として、収入面では運賃交渉による値上げや新規獲得、またロジステイクス(保管・流通業務)部門も貢献。費用は燃料価格の下落や各コスト削減などが挙げられる。18年3月期は6期連続の増収増益を目指す。引き続き運賃交渉、新規荷主の獲得、シェアアップ、ロジステイクス事業部などに積極的に取り組んでいく。

本紙のご購読・  
広告の申込みは  
下記連絡先まで。  
027-289-0990(代)  
株群馬経済新聞社

での暮らしを通じて自立心も高めていきたい(両者)。随時、見学も受け付けている。詳しくは「たむろ荘」のFacebookページ参照。